

平成 30 年 11 月 9 日

天理市議会議長 大橋 基之様

議会運営委員会委員長
飯田 和男

議会運営委員会視察報告書

視察日程 平成 30 年 8 月 7 日 (火) ～ 8 月 8 日 (水)

視察先及び調査事項 石川県加賀市 8 月 7 日 (火)
調査事項「議会改革の取り組みについて」

石川県白山市 8 月 8 日 (水)
調査事項「議会だよりの編集について」
「議会報告会、意見交換会について」

視察議員	委員長	飯田 和男
	副委員長	内田 智之
	委員	市本 貴志
	委員	中西 一喜
	委員	石津 雅恵
	委員	鳥山 淳一

随 行	議会事務局	出口 信行
-----	-------	-------

(1)視察先及び目的

1. 石川県加賀市

調査事項「議会改革の取り組みについて」

目的

他市の議会改革への取り組みを視察して日本一の議会を目指す。

2. 石川県白山市

調査事項「議会だよりの編集について」

「議会報告会、意見交換会について」

目的

他市の議会だよりの編集方法等を視察し、議会だよりのより良い紙面作りを目指す。

議会報告会のあり方や進め方等より良い会になることを目指す。

(2)視察概要

1. 加賀市役所

① 視察日時 平成 30 年8月7日(火) 午後1時 30 分～3時 30 分

② 調査事項

「議会改革の取り組みについて」

③ 視察先対応者

加賀市議会 議会活性化特別委員会 委員 中川 敬雄 氏

加賀市議会 議会活性化特別委員会 委員 今津 和喜夫 氏

議会事務局長 宮地 徹 氏

④施策概要

平成 23 年度4月1日に議会基本条例を制定し、金沢大学法科大学院との連携協定締結やPPDCAサイクルの運用規程を策定、タブレット端末の利活用、事務局の体制強化等、「日本一の議会を目指して」をコンセプトに改革への取り組みをされている。

⑤ 参考資料 ・加賀市議会だより

・加賀市の議会概要

(3) 考察と今後の課題

・質問内容

- ①議会関心度アップの取り組みについて
- ②議会 PPDCA サイクルの導入について
- ③議会図書室の機能強化について
- ④タブレット端末の活用について
- ⑤その他の取り組みについて

・回答内容

- ①市内小、中学生達が市役所見学も含め議会を傍聴、子供議会を開催、市内実業高校の生徒との意見交換会、女性議会を開催、女性や若者、子供達の保護者にも議会へ関心をもってもらうのがねらい。
- ②議会や委員会が行う様々な行為について進行管理、結果の振り返り、成果の評価や次への目標設定に活用している。
- ③市立図書館内の市政図書室に議会図書室を併設することにより、蔵書数が増えレファレンス機能の向上、図書室からの情報提供等調査研究の為に有効に使われている。
- ④会議資料、各種計画、会議案内のお知らせ等をデータ化し、ペーパーレス化をはかる。導入経費はかかるが年間 67000 枚の紙の削減につながった。
- ⑤福井県あわら市との議員連盟設立や、議会だよりモニター制度、議員定数の見直し等を行っている。

・本市議会もこのような内容を検討し、改善する内容を全議員に周知して、より良い議会にしていきたい。

(2)視察概要

2. 白山市役所

①視察日時 平成 30 年 8 月 8 日(水) 午前 10 時 00 分～12 時 00 分

②調査事項

「議会だよりの編集について」

「議会報告会、意見交換会について」

③視察対応者

白山市議会 副議長 吉本 史宏 氏
白山市議会 広報広聴委員会 委員長 山口 俊哉 氏
白山市議会 広報広聴委員会 副委員長 池元 勝 氏
白山市議会 広報広聴委員会 委員 中野 進 氏
白山市議会 広報広聴委員会 委員 大屋 潤一 氏

④施策概要

・平成 27 年5月号より議会だよりをリニューアルされ近畿市町村広報紙コンクールで優秀賞を受賞された経緯を聞かせて頂く。また議会報告会を地区、町内会から募集する形で開催され、常任委員会が各種計画団体と意見交換されているのも興味深い。

⑤参考資料

- ・白山市議会だより
- ・白山市議会概要

(3) 考察と今後の課題

・質問内容

- ①市合併後リニューアルされた議会だよりの工夫点
- ②編集委員会について
- ③多くの市民に読んでもらえる紙面の作り方
- ④議会広報公聴活動について
- ⑤議会報告会の開催実績について
- ⑥議会報告会の成果と課題について

・回答内容

- ①平成 17 年 8 月 1 日創刊。市出身者で配布を希望している人に郵送で配布。県内 10 市等にも配布。写真イラストから市内にある短期大学美術学科に依頼し年4回季節にあったイラストを描いてもらっている。
- ②委員の任期は 2 年。1 号発行につき 4 回の委員会を実施。印刷業者も参考人として委員会に出席してもらい一緒に構成作業を行う。
- ③できる限り文字数を削減、記事のコンパクト化。若い世代に先ず手にとってもらえるよう写真やイラストを多用し視覚に訴える努力をしている。
- ④本会議開催月以外の8月、10月、11月、1月、2月に開催。
地区や町内会が主催し 20 人以上の参加で開催。議会が主催し高校生、大学生を

対象に催す報告会もあり。

会場準備は議員自ら行う。

⑤平成 25 年から開催し延べ 1700 人以上の市民が参加。

⑥議会の資質の向上や、市民の声を直接聴取することにより政策提言にもつながっていく。選挙権が 18 歳以上に引き下げられたことにより若者たちとの議会報告会、意見交換会を積極的にしていきたい。

・本市議会もこのような内容を検討し、改善する内容を議員各位に伝え、市民により議会へ関心をもってもらえるよう前向きに努力したい。